

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

2024年 営農類型別経営統計調査票
(法人経営体用)

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

営農類型	番号	
------	----	--

- ☆ この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。
- ☆ この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。統計作成以外の目的に使うことはありません。

【記入上の留意事項】

- 2024年4月1日～2025年3月31日の間に到来した決算日の対象となる1年間について記入してください。
- 記入に当たっては、同封の「調査票の記入の仕方」を参照してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインを利用される方は、同封の「オンライン利用の手引き」を参照してください。
- 本調査に必要な資料
設問に回答する際は、お手元に次の資料をご用意ください。
 - 貸借対照表
 - 損益計算書
 - 事業経費の内訳がわかる書類
(製造原価報告書や販売費及び一般管理費内訳書など)
 - 労働時間や給与支給額がわかる書類
 - 生産状況・販売金額の内訳がわかる書類

2025年4月30日までに提出をお願いします。
(決算月が1月～3月の場合は6月30日までに提出をお願いします。)

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【通信欄】

決算期間の1年間で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。

【はじめに】

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

本調査票への記入に際しては、次の点に留意してください。

- 貸借対照表や事業経費（製造原価、販売費及び一般管理費）に係る勘定科目の記入欄は、貴法人が採用する勘定科目と異なる場合があります。
- 事業経費に係る記入は、農業についてのみとしてください。
- 営農の状況により、記入する欄が異なる場合があります。

1 調査票の構成

区 分	説 明	ペ ー ジ
【1】 現況	認定農業者の有無、決算期、経営する土地面積等の状況について記入してください。	3
【2】 貸借対照表	資産や負債の状況について記入してください。	4
【3】 投資と資金の調達	農業に係る投資や資金調達の状況について記入してください。	5
【4】 労働の概要、給与の状況	事業に従事した人数や労働時間、役員、雇用者への給与の状況について記入してください。	6、7
【5】 損益計算書	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について記入してください。	8
【6】 農業に係る事業経費	農業に係る経費の状況について記入してください。	9～11
【7】 生産概況、農畜産物収入	農畜産物の生産概況と販売収入について記入してください。	12～17
【8】 農作業受託収入、事業消費 など	農作業受託収入、事業消費に仕向けた農畜産物の金額について記入してください。	18、19
【9】 制度受取金・積立金等	制度受取金等に係る状況について記入してください。	18、19

2 「【6】 農業に係る事業経費」の記入に際しての留意点

- (1) 「当期製品製造原価」と「販売費及び一般管理費」の内訳である「事業経費」については、法人ごとに会計処理が異なるため、貴法人に該当する項目（【6】 農業に係る事業経費（P9）（6-1-1又は6-2-1））を選択し記入してください。
- (2) 「事業経費」の勘定科目は、農業法人協会が定める「農業の会計に関する指針」（平成26年5月制定）及びその参考資料の「標準的勘定科目一覧」を基準に設定しています。
- (3) このため、調査項目に採用している勘定科目は、各法人ごとに異なるものであるため、貴法人の勘定科目の名称と相違がある場合には、勘定科目の説明欄を参照し科目ごとに記入してください。

【1】現況

1-1 経営する法人の形態等についてお伺いします。

①	家族による経営ですか。	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
②	貴法人は認定農業者ですか。 又は、認定農業者はいますか。	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
③	決算期間の期末月を記入してください。		月
④	決算日時点の経営主の年齢を記入してください。		歳
⑤	農業以外の事業を行っていますか。	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ

⑥	集落営農ですか。	<input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
---	----------	--------------------------	---------------------------

「集落営農」とは、集落を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農をいいます。

・農業以外の事業とは、農業生産関連事業（農産加工、観光農園、貸し農園、農家民宿、農家レストラン）、林業、米穀集荷販売業、不動産経営などをいいます。

1-2 決算期末時点の土地の状況についてお伺いします。

経営している田～採草放牧地がありますか。

はい

→ 本年欄に記入してください。

いいえ

→ 4頁の【2】へお進みください。

区分は現状の地目で記入してください。また、貸している面積は含みません。
なお、集落営農の場合は、構成員持ち寄りの耕地は借入地に含めてください。

区 分	前 年		本 年			
	経営面積 (a)	うち借入地 (a)	経営面積		うち借入地	
			ha	a	ha	a
田						
畑 (樹園地、牧草地を除く。)						
樹 園 地 (茶の植栽面積含む。)						
牧 草 地						
採 草 放 牧 地						

・牧草地とは、専ら牧草の栽培を行う耕地をいいます。
・採草放牧地とは、自生する野草を飼料用や肥料用に採草したり、放牧に利用する土地をいいます。

【2】貸借対照表

資産、負債の状況について、**貸借対照表を参照して、期末の金額を記入してください。**

また、**農業以外の事業も経営している場合は、農業の占める割合を必ず記入**（有形固定資産の内訳及び負債計のみ）してください。

「貸借対照表」の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 農業以外の事業を行っている場合は、**点線内の農業割合を必ず記入の上**、5頁の【3】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

2-1 資産の部

勘定科目	説明	前年		本年					
		金額(円)	農業割合 %	金額(円)				農業割合 %	
				億	万	千	百		十
資産計	資産の合計								
流動資産	流動資産の合計								
うち現金・預貯金	現金、当座預金、普通預金、定期預金								
売掛金・未収入金	通常取引による営業上の未収入金								
棚卸資産	農産物、半製品、仕掛品、貯蔵品、資材								
うち農産物	農産物								
固定資産	固定資産の計								
有形固定資産	有形固定資産の計								
うち動物・植物	乳牛、繁殖牛、繁殖豚、果樹、茶、桑等								
自動車・農機具	車両運搬具、トラック、乾燥機、機械装置、刈り取り機等								
建物・構築物	建物、施設、畜舎、建物付属設備等								
土地	農地、付属施設等								
減価償却累計額	間接法による場合の減価償却費の累計額								
無形固定資産	電話加入権、地上権、借地権								
投資・その他の資産	農協出資金、長期貸付金、投資証券、補償金								
繰延資産	創立費、開業費								

2-2 負債の部

勘定科目	説明	前年		本年					
		金額(円)	農業割合 %	金額(円)				農業割合 %	
				億	万	千	百		十
負債計	負債の合計								
流動負債	流動負債の合計								
うち買掛金・未払金	原材料等の購入代金等の未払金の合計								
短期借入金	返済期限が1年以内の借入金								
固定負債	固定負債の合計								
うち長期借入金	返済期限が1年を超える借入金								

次頁の【3】へお進みください。

【3】投資と資金の調達

3-1 直近決算期における設備投資の状況についてお伺いします。

1年間に、建物・構築物、自動車・農機具、事業用の動物・植物、土地への投資を行いましたか。

はい → 本年欄に記入してください。

いいえ → 3-2へお進みください。

事業経営のため1年間（決算期間）に設備投資したそれぞれの資産について、取得額の合計を記入してください。また、記入した金額のうち農業の占める割合を必ず記入してください。

勘定科目	説明	前年		本年					
		金額(円)	農業割合	金額(円)				農業割合	
			%	億	万	千	百	十	一
建物・構築物	建物・構築物の購入金額								
農機具等	自動車・農機具の購入金額								
果樹・牛馬等	植物・牛馬の購入金額（肥育牛及び中小動物を除く。）								
土地	土地の購入金額								

3-2 直近決算期の資金調達の状況についてお伺いします。

1年間に、事業のための資金調達を行いましたか。

はい → 本年欄に記入してください。

いいえ → 6頁の【4】へお進みください。

1年間に借り入れた金額の合計を短期・長期別に記入してください。また、記入した金額のうち農業の占める割合を必ず記入してください。

勘定科目	説明	前年		本年					
		金額(円)	農業割合	金額(円)				農業割合	
			%	億	万	千	百	十	一
短期借入金	返済期限が1年以内の借入金								
長期借入金	返済期限が1年を超える借入金								

【4】労働の概要、給与の状況

雇用形態別の従事者数、農業労働時間等についてお伺いします。

以下の設問にある従事者数、農業労働時間、性別、支給した給与を整理した資料がある場合は、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 8頁の【5】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

4-1 男性の従事者数：1年間の男性の従事者数について、雇用形態別に実人数で記入してください。
また、そのうち農業に従事した方の人数をそれぞれ記入してください。

区 分	前 年			本 年		
	男性の 全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)	男性の 全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)
有 給 役 員						
常 用 雇 用 者	正 社 員・ 正 職 員					
	そ の 他					
	う ち 7か月以上					

4-2 女性の従事者数：1年間の女性の従事者数について、雇用形態別に実人数で記入してください。
また、そのうち農業に従事した方の人数をそれぞれ記入してください。

区 分	前 年			本 年		
	女性の 全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)	女性の 全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)
有 給 役 員						
常 用 雇 用 者	正 社 員・ 正 職 員					
	そ の 他					
	う ち 7か月以上					

4-3 臨時雇用者数：1年間の臨時雇用者数（男女計）について、実人数で記入してください。

区 分	前 年		本 年	
	従事者数 (人)	うち農業 (人)	従事者数 (人)	うち農業 (人)
臨 時 雇 用 者				

4-4 研修生の受け入れがあった場合、研修生の人数をそれぞれ記入してください。

区 分	前 年	本 年
	人数 (人)	人数 (人)
外国人技能実習生		
日本人研修生		

- ・外国人技能実習生は、外国人技能実習制度に基づき雇用した実習生の人数（実人数）を記入してください。
- ・日本人研修生は、雇用の有無にかかわらず受け入れた研修生（実人数）を記入してください。

4-5 労働時間：1年間の労働時間の合計を雇用形態別に記入してください。
また、農業には、貴法人が請け負った農作業も含まれます。

区 分		前 年		本 年	
		年間の事業労働時間 (時間)	うち農業労働時間 (時間)	年間の事業労働時間 (時間)	うち農業労働時間 (時間)
有 給 役 員					
常 用 雇 用 者	正 社 員 ・ 正 職 員				
	そ の 他				
	う ち 7カ月以上				
臨 時 雇 用 者					

労働時間の合計の記入は、整理した資料若しくは以下の方法などにより算出した値を記入してください。
「1人当たりの1日平均労働時間」×「1人当たりの年間の平均従事日数」×「人数」により算出した値を記入してください。

<例>

正社員5人の平均労働時間が、1日8時間、年間300日働いている場合、 $8 \times 300 \times 5 = 12,000$ となるため、「12,000」を記入してください。

4-6 1年間に支給した給与（農業以外の事業に従事した従事者を含みます。）
支給総額を雇用形態別に記入してください。
なお、従事分量配当として事業従事者に支払った場合は給与に含めます。

区 分		前 年 給与支給総額 (円)	本 年 給与支給総額 (円)			
			億	万	千	百
有 給 役 員				0	0	0
常 用 雇 用 者	正 社 員 ・ 正 職 員			0	0	0
	そ の 他			0	0	0
臨 時 雇 用 者				0	0	0

<留意点>

・退職金、法定福利費及び福利厚生費は支給総額に含めないでください。
・支給総額は万円単位（千の位を四捨五入）で記入してください。

【雇用形態の区分】

- 有給役員：法人の取締役、理事などで役員報酬を得ている者をいいます。
- 常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は1か月以上の期間を定めて雇用している者をいいます。
 - ・正社員・正職員：常用雇用者のうち貴法人で正社員・正職員として処遇している者をいいます。
 - ・その他：常用雇用者のうち正社員・正職員以外の者（1か月以上雇用したパート、アルバイト等）をいいます。
- 臨時雇用者：1か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者をいいます。

※常用雇用者及び臨時雇用者には、外国人技能実習生及び日本人研修生を含みます。
酪農ヘルパー等の派遣労働に係る労働者及びその労働時間は含みません。

【5】 損益計算書

事業全体の売上高や経費等についてお伺いします。

5-1 損益計算書：事業全体の売上高、経費等について記入してください。

「損益計算書」の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 農業以外の事業を行っている場合は、点線内の農業割合を必ず記入の上、5-2へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

勘定科目	前年		本年								
	金額(円)	農業割合 %	金額(円)				農業割合 %				
			億	万	千	百		十	一		
営業収支(売上高、売上原価等)											
売上高											
売上原価 (①+②+③+④-⑤)											
期首商品棚卸高 ①											
当期商品仕入高 ②											
当期製品製造原価 ③											
生物売却原価 ④											
期末商品棚卸高 ⑤											
販売費及び一般管理費											
営業外収支											
営業外収益											
営業外費用											
支払利子・割引料											
特別損益等											
特別利益											
特別損失											
当期純利益											

5-2 「当期製品製造原価」「販売費及び一般管理費」の内訳である事業経費についてお伺いします。

「当期製品製造原価」「販売費及び一般管理費」の内訳の整理方法について当てはまる方へお進みください。

①まとめて整理している
(製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書のいずれかのみ作成している場合)

9頁へお進みください。

②別々に整理している
(製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書の両方を作成している場合)

10頁へお進みください。

【6】農業に係る事業経費（当期製品製造原価、販売費及び一般管理費）

① 製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書のいずれかのみ作成している場合

6-1-1 事業経費についてお伺いします。

事業経費の内訳を整理している決算資料（製造原価報告書及び販売費及び一般管理費内訳書のいずれか）の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 資料を提出いただける場合は、**点線内の農業割合を必ず記入の上**、12頁の【7】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

農業に係る経費を科目別に記入してください。農業以外の事業を行っている場合で農業に係る経費の記入が**困難な場合は事業全体の金額を記入し、うち農業の占める割合を必ず記入**してください。

勘定科目	説明	前年		本年					農業割合 %	
		金額(円)	農業割合 %	金額(円)						
				億	万	千	百	十	一	
合計	【5】損益計算書の「当期製品製造原価③」+「販売費及び一般管理費」の合計額									
期首材料棚卸高	原材料の期首在り高									
期首仕掛品棚卸高	仕掛品の期首在り高									
種 苗 費	種もみ、種子、種いも、苗類などの購入費									
素 畜 費	預託費、種付費、もと畜の購入費用、登録料									
肥 料 費	肥料の購入費用									
飼 料 費	飼料の購入費用、自給飼料の振替額									
農 薬 費・ 衛 生 費	農薬、予防目的の家畜用の薬剤の購入費									
水 道 料・ 動 力 光 熱 費	生産用の電気、水道料やガリン、軽油などの燃料費									
諸 材 料 費	敷料、諸材料費、消耗品費、事務用消耗品費									
労 務 費・人 件 費	賃金手当、給与手当、雑給、賞与、役員報酬、福利厚生費等									
うち作業用衣料費	労務費に含まれる作業服、長靴、軍手等の購入費									
農作業等委託費	賃耕料、刈取料などの農作業委託料									
診 療 衛 生 費	獣医の診療報酬、獣サル料、治療用の薬剤費									
外 注 費	酪農や肥育牛などのヘルパー利用料、工場管理費等									
農 具・機 械 等 車 両 費	農機具、農業用車両の購入費									
修 繕 費・ 修 繕 用 部 品 費	建物、農機具、農機具車両等の維持、修繕費									
共 済 掛 金・ 保 険 料	作物や農用施設の共済掛金、支払保険料、事務費等									
減 価 償 却 費	農業生産に使用した建物、農機具、自動車等の減価償却費									
地 代・家 賃 ・ 賃 借 料	地代、家賃、賃借料、検査料、受託農産物精算費									
土 地 改 良 費	土地改良負担金・土地改良賦課金、水利費									
租 税 公 課 ・ 諸 会 費 等	租税公課、諸会費、諸負担金、消費税、印紙税、共済賦課金、自賠責保険									
荷 造 運 賃 ・ 販 売 手 数 料	出荷用包装材料、運賃、販売手数料など									
そ の 他 の 経 費	上記以外の経費									
期 末 材 料 棚 卸 高	原材料の期末在り高									
期 末 仕 掛 品 棚 卸 高	仕掛品の期末在り高									
育 成 費 振 替 高	育成中の生物に対する当期の支出									

飼料費がある場合は、必ず回答してください。

SAMPLE

6-1-2 飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の**補てん金を控除**していますか。

はい → 「本年金額」欄に控除した補てん金額を記入してください。

いいえ → 12頁の【7】へお進みください。

前年金額(円)	本年金額(円)				
	億	万	千	百	十

【6】農業に係る事業経費（当期製品製造原価、販売費及び一般管理費）（続き）

② 製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書の両方を作成している場合

※前頁6-1-1を回答した場合は、12頁の【7】へ進んでください。

6-2-1 事業経費についてお伺いします。

事業経費の内訳を整理している決算資料（製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書の両方）の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 資料を提出いただける場合は、点線内の農業割合を必ず記入の上、12頁の【7】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

農業に係る経費を科目別に記入してください。農業以外の事業を行っている場合で農業に係る経費の記入が困難な場合は事業全体の金額を記入し、うち農業の占める割合を必ず記入してください。

(1) 当期製品製造原価（製造原価報告書）

勘定科目	説明	前年		本年					
		金額(円)	農業割合	金額(円)					農業割合
			%	億	万	千	百	十	一
当期製品製造原価		【5】損益計算書の「当期製品製造原価③」計上額							
材料費	期首材料棚卸高	原材料の期首在り高							
	種 苗 費	種もみ、種子、種いも、苗類などの購入費							
	素 畜 費	種付費、もと畜の購入費用、登録料							
	肥 料 費	肥料の購入費用							
	飼 料 費	飼料の購入費用、自給飼料の振替額							
	農 薬 費	農薬、予防目的の家畜用の薬剤の購入費							
	敷 料 費	敷料の購入費							
	燃 油 費	重油等、園芸用ハウス暖房用燃料等の購入費							
	諸 材 料 費	被覆用ビニール(マルチ)、鉢、針金等の購入費							
	期末材料棚卸高	原材料の期末在り高							
労 務 費	労務費	手当、給食、賞与、法定福利費、福利厚生費							
	うち作業用衣料費	労務費に含まれる作業服、長靴、軍靴等の購入費							
外 注 費	作業委託費	賃耕料、刈取料などの農作業委託料							
	診療衛生費	獣医の診療報酬・コンサル料、治療用の薬剤費							
	預 託 費	家畜の育成、肥育の委託費							
	ヘルパー利用料	酪農や肥育牛などのヘルパー利用料							
	ほ場管理費	けい草刈り、水管理・肥培管理などの作業委託料							
製 造 経 費	農 機 具 費	取得10万円未満又は耐用年数1年未満の農機具購入費							
	修 繕 費	建物、農機具、農業用車両等の維持、修繕費							
	動力光熱費	生産用の電気、水道料やガソリン、軽油などの燃料費							
	共 済 掛 金	作物や農用施設の共済掛金、価格補填負担金の収入保険料、事務費等							
	減 価 償 却 費	農業生産に使用した建物、農機具等の減価償却費							
	賃 借 料 ・ 地 代	地代、家賃、賃借料、検査料、受託農産物精算費							
	土 地 改 良 費	土地改良負担金、土地改良賦課金、水利費							
	租 税 公 課	生産用固定資産税等の租税、自動車損害賠償責任保険、農業共済賦課金							
そ の 他	上記以外の経費								
仕掛品棚卸高増減	仕掛品の期首在り高－期末在り高								
育成費振替高	育成中の生物に対する当期の支出								

(2) 販売費及び一般管理費内訳書

勘定科目	説明	前年		本年				
		金額(円)	農業割合	金額(円)				農業割合
			%	億	万	千	百	十
販売費及び一般管理費	【5】損益計算書の「販売費及び一般管理費」計上額							
人件費	給与手当、雑給、賞与、退職金、役員報酬、福利厚生費							
荷造運賃・販売手数料	出荷用包装材料、運賃、販売手数料など							
車両費・修繕費	事務用固定資産の修繕費、車両費							
うち燃料費	車両費に含まれる燃料代							
減価償却費	販売や管理に使用した建物や自動車等の減価償却費							
地代・家賃・賃借料	販売管理用土地・建物の賃借料							
支払保険料	販売管理用固定資産の支払保険料							
租税公課・諸会費等	印紙税、消費税、諸会費							
貸倒引当金繰入額	貸倒引当金の当期の繰入金							
動力光熱費	販売や管理に使用した電気・水道料金など							
その他	上記に含まれない経費の合計							

飼料費がある場合は、必ず回答してください。

6-2-2 飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の補てん金を控除していますか。

はい	→ 「本年金額」欄に控除した補てん金額を記入してください。
いいえ	→ 12頁の【7】へお進みください。

前年金額(円)	本年金額(円)				
	億	万	千	百	十

【7】生産概況、農畜産物収入

1年間（決算期間）に、販売目的で作付（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、販売金額等についてお伺いします（自家消費のみの目的の場合は除きます。）。

なお、「作付延べ面積」「月平均飼養頭羽数」「生産量」欄には事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物を含めてください。

また、**稲わら以外の副産物を販売した場合は、該当する区分の販売金額に含めてください。**

7-1 稲、麦類等

区 分			作付延べ面積、 販売金額 に含めるもの	前 年			
				作付延べ面積（茶は植栽面積）		生産量（kg）	販 売 金 額 （円）
				田（a）	畑（a）		
稲（食用）	水稲	主食用米	主食用				
		加工用米	酒造用、加工用				
		新規需要米等	輸出用、米粉用、備蓄用の合計				
	陸 稲						
稲（飼料用）	飼料用米	自給用を含む。					
	WCS用稲	稲発酵粗飼料用稲（自給用を含む。）					
稲わら・ぬか等		稲わら・ぬか等を販売したもの					
麦類	小 麦						
	二 条 大 麦						
	六 条 大 麦						
	は だ か 麦						
	その他の麦	ライ麦など					
豆類	大 豆	乾燥子実（枝豆等の未成熟野菜）					
	大豆以外	小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実					
雑穀	そ ば	そば殻を含む。					
	他の雑穀	とうもろこし、あわ、ひえなどの穀物					
いも類	か ん し ょ	種いも用、原材料かんしょを含む。					
	ば れ い し ょ	種いも用、原材料ばれいしょを含む。					
工芸農作物	て ん さ い						
	さ とう き び						
	茶	作付面積は植栽面積 生産量は荒茶換算					
	その他工芸農作物	なたね、い草、葉たばこなど					
その他	飼料用作物	牧草、デントコーン等、飼料用を目的に作付した作物の合計（自給用を含む。）					
	その他の作物	芝、苗、苗木、栽培きのこ類など					

以下の設問にある1年間の生産概況を整理した資料がある場合は、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい →18頁の【8】へお進みください。

いいえ →本年欄に記入してください。

7-1 稲、麦类等

区 分			本 年													
			作付延べ面積（茶は植栽面積）						生産量（kg）			販売金額（円）				
			田（a）			畑（普通畑）（a）										
			ha	a		ha	a		億	万	千	百	十	一		
稲（食用）	水稲	主食用米														
		加工用米														
		新規需要米等														
		陸 稲														
稲（飼料用）		飼料用米														
		WCS用稲														
稲わら・ぬか等																
麦類		小 麦														
		二 条 大 麦														
		六 条 大 麦														
		は だ か 麦														
		その他の麦														
豆類		大 豆														
		大豆以外														
雑穀		そ ば														
		他の雑穀														
いも類		か ん し ょ														
		ば れ い し ょ														
工芸農作物		て ん さ い														
		さ と う き び														
		茶														
		その他工芸農作物														
その他		飼料用作物														
		その他の作物														

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

7-2 野菜

区 分	前 年				
	品 目		作付延べ面積		販 売 金 額 (円)
	コード	品 目 名	露地 (a)	施設 (m ²)	
露 地 野 菜					
		その他の露地野菜			
施 設 野 菜					
		その他の施設野菜			

7-3 果樹

区 分	前 年				
	品 目		作付延べ面積 (植栽面積)		販 売 金 額 (円)
	コード	品 目 名	露地 (a)	施設 (m ²)	
果 樹					
		その他の果樹			

7-2 野菜

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の露地野菜】
【その他の施設野菜】にまとめて記入してください。

区 分	本 年				販売金額 (円)					
	品 目 (生産した野菜の品目コード又は 品目名を記入してください。)		作 付 延 べ 面 積							
	コード	品 目 名	露 地 (a) ha a	施 設 (m ²) m	億	万	千	百	十	一
露 地 野 菜										
		その他の露地野菜								
施 設 野 菜										
		その他の施設野菜								

野菜の品目はこちらから選択してください。

01	だいこん	04	キャベツ	07	ねぎ	10	なす	13	ピーマン
02	にんじん	05	ほうれんそう	08	たまねぎ	11	大玉トマト		
03	はくさい	06	レタス	09	きゅうり	12	ミニトマト		

7-3 果樹

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の果樹】にまとめて記入してください。

区 分	本 年				販売金額 (円)					
	品 目 (生産した果樹の品目コード又は 品目名を記入してください。)		作 付 延 べ 面 積 (植 栽 面 積)							
	コード	品 目 名	露 地 (a) ha a	施 設 (m ²) m	億	万	千	百	十	一
果 樹										
		その他の果樹								

果樹の品目はこちらから選択してください。

51	りんご	54	露地ぶどう	57	もも	60	おうとう	63	くり
52	露地温州みかん	55	施設ぶどう	58	かき	61	すもも	64	キウイフルーツ
53	施設温州みかん	56	日本なし	59	うめ	62	びわ	65	パインアップル

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

7-4 花き

区 分	作付延べ面積、販売金額 に含めるもの	前 年		
		作付延べ面積		販 売 金 額 (円)
		露地 (a)	施設 (m ²)	
露 地 花 き	露地で生産する鉢植えの花木を含む。			
施 設 花 き	施設で生産する鉢植えの花木を含む。			

7-5 畜産物

区 分	飼養頭羽数、生産量 に含めるもの	販売金額 に含めるもの	前 年		
			飼養頭羽数、 生産量	販 売 頭 羽 数	販 売 金 額 (円)
酪 農	生乳生産量 (年間)	自家で飼養する乳牛から搾 乳して生産したもの	生乳	kg	
	搾 乳 牛	搾乳牛（乾乳中の牛を含 む。）の月平均飼養頭数		頭	
	自家生産乳牛等		自家で生産した乳牛（F1、 ETを含む。）の搾乳用育成 牛		頭
肉 用 牛	繁殖雌牛	繁殖用の和牛雌牛の月平均 飼養頭数		頭	
	自家生産 和牛等		自家で生産した子牛（和牛等・ F1クロス等）自家で生産して 繁殖用に選択した牛		頭
	肉専用種	肉専用種の牛（他家から購入し て育成または肥育した牛、自家 で生産して肥育した牛）の月平均 飼養頭数	肉専用種の牛（他家から購入し て育成または肥育した牛、自家 で生産して肥育した牛）の合計	頭	頭
	乳用種	乳用種の牛（他家から購入し て育成または肥育した牛、自家で 生産して肥育した牛）の月平均 飼養頭数	乳用種の牛（他家から購入し て育成または肥育した牛、自家で 生産して肥育した牛）の合計	頭	頭
	交雑種	交雑種の牛（他家から購入し て育成または肥育した牛、自家で 生産して肥育した牛）の月平均 飼養頭数	交雑種の牛（他家から購入し て育成または肥育した牛、自家で 生産して肥育した牛）の合計	頭	頭
養 豚	繁殖雌豚	繁殖用の豚の月平均飼養頭 数		頭	
	肥 育 豚	肥育用の豚の月平均飼養頭 数		頭	
	肉 豚		肉豚、廃用豚のうち販売し た豚		頭
	子 豚		肥育用・繁殖用子豚		頭
採卵養鶏	飼 養 羽 数	採卵鶏（うずらを除く。） の月平均飼養羽数		羽	
	鶏卵生産量 (年間)	採卵鶏から生産される卵 (販売した不正常卵を含 む。)	採卵鶏から生産される卵 (販売した不正常卵を含 む。)、廃鶏	kg	
ブロイラー養鶏	ブロイラー、ブロイラー雛 (地鶏を除く。)の年間販 売羽数	ブロイラー、ブロイラー雛 (地鶏を除く。)		羽	
その他 畜 産	きゅう肥 (ふん尿)		きゅう肥として販売したも の（自給肥料としたもの以 外）		
	そ の 他		地鶏、綿羊、うずら、や ぎ、養蚕、養蜂等		

7-4 花き

区 分	本 年														
	作付延べ面積					販 売 金 額 (円)									
	露地 (a)		施設 (m ²)												
ha	a	m			億	万	千	百	十	一					
露 地 花 き															
施 設 花 き															

7-5 畜産物

区 分	本 年																
	飼養頭羽数 (月平均)、 生産量 (年間)				販売頭羽数 (年間)				販 売 金 額 (円)								
	万		千		百		十		一		億	万	千	百	十	一	
酪 農	生乳生産量 (年間)				kg												
	搾乳牛				頭 (月平均)												
	自家生産乳牛等						頭										
肉 用 牛	繁殖牛	繁殖雌牛				頭 (月平均)											
		自家生産和牛等						頭									
	肥育牛	肉専用種				頭 (月平均)		頭									
		乳用種				頭 (月平均)		頭									
		交雑種				頭 (月平均)		頭									
養 豚	繁殖雌豚				頭 (月平均)												
	肥育豚				頭 (月平均)												
	肉豚						頭										
	子豚						頭										
採卵養鶏	飼養羽数				羽 (月平均)												
	鶏卵生産量 (年間)				kg												
ブロイラー養鶏						羽											
その他畜産	きゅう肥 (ふん尿)																
	その他																

【8】農作業受託収入、事業消費など

8-1 農作業受託についてお伺します。

1年間に農作業受託収入がありましたか。

はい	→「本年金額」欄に受託収入を記入してください。
いいえ	→ 8-2へお進みください。

(右頁に続きます。)

前年金額 (円)	本 年 金 額 (円)				
	億	万	千	百	十

【9】制度受取金・積立金等

制度受取金・積立金等についてお伺いします。

1年間に農業に関する制度受取金・積立金等がありましたか。

はい	→ 次の設問へお進みください。
いいえ	→ 調査は終了になります。

(右頁に続きます。)

名 称 等	チェック		前 年 金 額	
	受取	積立	制度受取金等 (円)	制度積立金等 (円)
共通	農業共済			
	収入保険			
	多面的機能支払交付金・農地維持支払			
	多面的機能支払交付金・資源向上支払			
	中山間地域等直接支払交付金			
	肥料価格高騰対策事業			
	施設園芸等燃油価格高騰対策			
水田・畑作	畑作物の直接支払交付金			
	水田活用の直接支払交付金			
	米・畑作物の収入減少影響緩和対策交付金			
	国内麦流通円滑化特別対策事業			
野菜	指定野菜価格安定対策事業			
	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業			
茶	茶・薬用作物等支援対策			
果樹	果樹経営支援対策事業			
	果樹未収益期間支援事業			
畜産	配合飼料価格安定制度			
	酪農経営支援総合対策事業			
	肉用子牛生産者補給金			
	肉用牛肥育経営安定交付金 (牛マルキン)			
	肉用牛経営安定対策補完事業			
	肉豚経営安定交付金 (豚マルキン)			
	鶏卵生産者経営安定対策事業			
	配合飼料価格高騰緊急特別対策			
	国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策			
その他	上記以外の制度受取金・積立金等			
合 計				

「計」の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金」、「合計」欄を記入ください。

8-2 農業生産関連事業を行っている方にお伺いします。

自らが生産した農畜産物を農業生産関連事業に仕向けている場合は、仕向けた自家農畜産物の金額を記入してください。金額が不明な場合は、仕向けた数量に市場価格等に乗じて見積もった金額を記入してください。

ただし、12~17ページの「【7】生産概況、農畜産物収入」に計上されている場合は記入不要です。

前年金額 (円)	本 年 金 額 (円)				
	億	万	千	百	十

以下の設問にある制度受取金・積立金等を整理した資料の写しを提出していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

- はい** → 1年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けていただき、調査は終了になります。
- いいえ** → ① 1年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けてください。
 ② 受け取った金額を「制度受取金等」欄に、支払った金額を「制度積立金等」欄に記入してください。
 なお、内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金等」、「合計（制度受取金等）」及び「合計（制度積立金等）」欄を記入してください。

名 称 等	チェック 受取 積立	本 年 金 額																			
		制度受取金等 (円)					制度積立金等 (円)														
		億	万	千	百	十	億	万	千	百	十										
共通	農業共済																				
	収入保険																				
	多面的機能支払交付金・農地維持支払																				
	多面的機能支払交付金・資源向上支払																				
	中山間地域等直接支払交付金																				
	肥料価格高騰対策事業																				
	施設園芸等燃油価格高騰対策																				
水田・畑作	畑作物の直接支払交付金																				
	水田活用の直接支払交付金																				
	米・畑作物の収入減少影響緩和対策交付金																				
	国内麦流通円滑化特別対策事業																				
野菜	指定野菜価格安定対策事業																				
	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業																				
茶	茶・薬用作物等支援対策																				
果樹	果樹経営支援対策事業																				
	果樹未収益期間支援事業																				
畜産	配合飼料価格安定制度																				
	酪農経営支援総合対策事業																				
	肉用子牛生産者補給金																				
	肉用牛肥育経営安定交付金 (牛マルキン)																				
	肉用牛経営安定対策補完事業																				
	肉豚経営安定交付金 (豚マルキン)																				
	鶏卵生産者経営安定対策事業																				
	配合飼料価格高騰緊急特別対策																				
	国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策																				
その他	上記以外の制度受取金・積立金等																				
合 計																					

内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金」、「合計」欄を記入してください。

調査は以上です。ご協力、ありがとうございました。